

交流とおして信仰探求

青中連 高山市でピースフォーラム2017

【新日本宗教学青年会中部連】と呼びかけた。続いて、宗教学事務局の佐々木真章氏が「お互いの話を聴きながら、高山市でピースフォーラム2017」を主催した。



信仰体験発表の後、グループ討議を行い、代表が感想を述べた(15日、宗教学事務局)

この後、本山施設の見学に移り、岡田光宗教員長が「お互いの話を聴きながら、高山市でピースフォーラム2017」を主催した。続いて、宗教学事務局の佐々木真章氏が「お互いの話を聴きながら、高山市でピースフォーラム2017」を主催した。

秋の祭典 各地で

立教百年に向け結集

先祖を敬い大切に 円心教



立教百年に向け、円心教の祭典が行われた。先祖を敬い大切にすることを誓った。

円心教(深田充啓教主)は10月7、8の両日、兵庫県丹波市の本殿で「秋季大祭」を執行了。両日とも午後零時半から開式。深田充啓教主が「立教百年に向け、先祖を敬い大切にすることを誓った」と述べた。

二度と戦争を起ささない

青中連 回天慰霊祭を執り行う

【新日本宗教学青年会中国連】は10月22日、山口県周南市で「回天慰霊祭」を執り行った。この日は、回天慰霊祭の回天慰霊祭を執り行った。

この日は、回天慰霊祭の回天慰霊祭を執り行った。この日は、回天慰霊祭の回天慰霊祭を執り行った。

聖観音像拝し精進誓う

「生まれ変わり」念じ 天真教

天真教(神出修二教主)は9月23日、三重県伊賀市の本殿で「第46回世界助けの聖観音秋季大祭」を執り行った。聖観音は「生まれ変わり」を念じて精進を誓った。

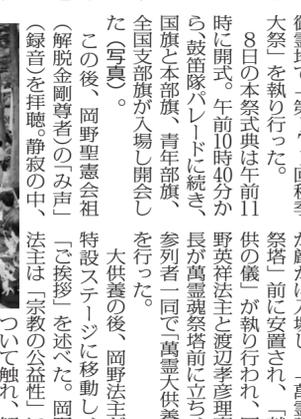


天真教の秋季大祭が行われた。聖観音に拝し、精進を誓った。

祈りは大きな力に

「特別祈願」も執行 大和之宮

大和之宮(安食克己代表)は10月5日深夜から翌日午前にかけて、山形市の本殿で「第32回例大祭」を執り行った。祈りは大きな力になると述べた。



大和之宮の秋季大祭が行われた。祈りは大きな力になると述べた。

立教90年「大祭の歌」披露

一会員として奉仕実践 解脱会

解脱会(野英祥法主)は10月8、9日の両日、埼玉県北本市の本殿で「立教90年大祭」を執り行った。一会員として奉仕実践を誓った。



解脱会の立教90年大祭が行われた。一会員として奉仕実践を誓った。



回天慰霊祭の会場で行われた。二度と戦争を起さないと誓った。

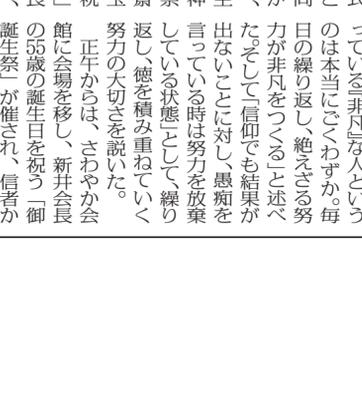
【諸会議報告】「宗教学者の自治規範」に関する研究会の対話協議。宗教学者の自治規範に関する研究会の対話協議が行われた。

【訂正】前号1094号(9月26日付)2面記事「立教百年に向け、先祖を敬い大切に」の誤りについて訂正いたします。

絶えざる努力と徳積み

会長誕生祭と併せ 救世真教

救世真教(新井光興会長)は10月15日午前10時から、群馬県高崎市の本部救世殿で「会長誕生祭」を執り行った。絶えざる努力と徳積みを目指した。

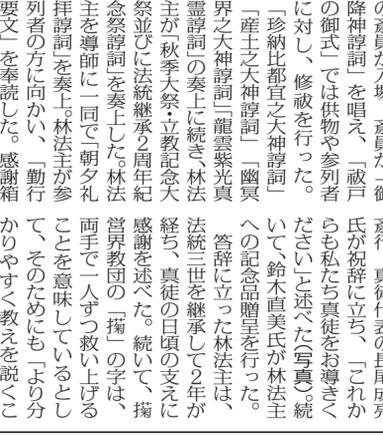


救世真教の会長誕生祭が行われた。絶えざる努力と徳積みを目指した。

幸せな人生のお手伝い

「掬」の意を説く 掬界教団

掬界教団(林玄光法主)は10月8日午前9時半から、大阪府交野市の本部掬界教団で「掬」の意を説く講座を行った。



掬界教団の「掬」の意を説く講座が行われた。

【諸会議報告】「宗教学者の自治規範」に関する研究会の対話協議。宗教学者の自治規範に関する研究会の対話協議が行われた。

PL祭を挙行政

おしえおやの遂断のおかげ

信仰の感謝と決意を祈る

パレード、リパティ、教団(P.L. 御木貴日正 教主)は9月29日、大阪府 富田市の聖地をほじめて 富田の教会、支所などで立 教71周年を祝う「PL祭」 を挙行政した。

聖地では午前10時から、 練成会館ホールで聖地在 住に在勤者とPL学園生をほ じめ会員らが参列し式典を 執り行った。高浪さゆり祭 司長、竹内リサ副祭司長ら 24人の祭司が入場。聖号奉 唱、PL遂断詞の後、高浪 祭司長が神前に進み、祭文 典を終了した。



聖地では在在勤者とPL学園生をはじめ会員らが参列した

この後、総合事務所の平 験を披露した。また、代々 山陽一氏が登壇し、教団が 弾圧を乗り越えて立教に至っ た当時の様子や自らの体 験を語り、決意を祈る。

すべてが懺悔の道場

思親清行大士様 第68聖忌報恩大法要



開祖の「ご遺影」を安置し、読経供養

思親会(飯島法道会長) は10月12日午前11時から、 神奈川伊勢原市の本部・ 思親大宮殿大講堂で、思親 清行大士様第68聖忌報恩大 法要」を執り行った。

場内の照明が暗くされ、 井戸清行開祖の足跡を辿る 映像が上映された後、正面 の樓壇に安置された開祖 の「ご遺影」に、厳かに献 花が行われた。代表献花を 飯島法道会長と井戸家代 表、各組織代表が行い、各 氏が遺影に恭しく花を捧げ た。この後、飯島会長を大 導師に参列者一同で読経供 養を厳修した。

開教70周年へ向け精進を

世界の子どものために祈る日 妙智會教団

妙智會教団(宮本恵司法 師)は10月12日午前10時か ら、東京・代々木の本部本 殿で「開教70周年記念『世 界の子どものために祈る日』」を挙行政した。同式典 は1990平成29年の開 教記念日にあり、制定さ れ、毎年行われている。

大講堂を埋め尽くした会 員一同で玄壇三唱、続いて 青年女子による献灯・献華 が厳かに行われ、須弥壇を 荘厳した。導師の宮本恵司 法師が入壇し、祈願。



導師の宮本法師が退壇した後、会員による体験発表があり、スローガン・綱領を全員で唱和した。

続いて、今年5月にパナ マで開催された「子どものための宗教者ネットワーク」(GNRC=Global Network of Religions for Children)の第5回フォーラムの記録を 綴った映像を上映。GNRC C立ち上げにつながる宮本 丈晴大導師が1990年 成21年に設立した「あり

が、基金が、開設から の歩みと併せて紹介され た。宮本法師が登壇し、「ご 指導」教を素直に受け止 めることの大切さを強調す る。この日、宮本ミツ子会 長の指導は霊界からの指導 と同じことと解説し、何事 も迎えること、大切さを説 いた。

そして宮本法師が「開教 70周年へ向け、明日からし っかり精進してまいります よう」と力強く呼び掛けら れ、会場各所から大きな 「ハイ」の返事が沸き起こ った。

この後、参列者一同で教 団歌斉唱、文壇三唱と続き、 宮本法師の呼びかけで全員 が万歳三唱を行い、開教を 祝した。

宮本法師が、何事も「ハイ」 と答える大切さを説いた。

平和を祈る心は一つ

第41回神里聖地祭 修養団捧誠会

東京・池袋の修養団捧誠 会(出居徳久総裁)は10月 8日午前11時から、静岡県 沼津市の悠久世界平和郷 (神里)の万霊万尊愛堂を 会場に、第41回神里聖地祭 を 挙行政した。

式典に先立ち、「平和行 進」。「血染めの御旗」と 出居徳久総裁を先頭に、会 長・役員・来賓らが本部旗、 おみな会旗とともに行進を 行い、万霊万尊愛堂に入 場。「礼法」を行った後、 式典に移り、出居総裁が 「いのり」を奏上した。

続いて、早山徹会長が式 辞。出居徳久総裁が世界 平和実現のために始めた 「悠久世界平和建設運動」 に触れ、宗教間、国家間の 対立が高まる中、「教団の

理念に立ち返り、理念を発 信し、建設運動を進めてさっ と」。多くの国・民族・ 文化・言語などがあるが、 地球は一つであることを強

調し、「多くの違いがあ り、平和を祈る心は一つで あることを信じていきたい」と述べた。そして、宗 教の本質は「大自然を敬い、 すべての人々の平和と幸せ を一人ひとりが深く心静か に祈ること」と説き、その 祈りが一人から周囲へと広 がるように共に歩んでいき たいと、参列者に呼びかけ た。

この後、「平和パフォー マンス」を行った。参加者 が色分けされた紙に、それ ぞれ「平和」から連想され る5音ないし7音の言葉を 書き、それらを組み合わ せて俳句をつくり、組み合 わせて俳句を醸成しようとい うものがあられ、言葉の組み 合わせの妙に会場は笑いど 拍手に包まれた。

「平和パフォー マンス」の後、全員で「平和郷歌」 を斉唱し、乾杯し、閉会し た。

子孫繁栄総供養を厳修 三宝帰依の実践を

大観音まつり 真生会

真生会(田中庸仁会長) は10月15日午前10時半か ら、岐阜市の総本山真生寺 で「大観音まつり」を執り 行った。

はじめに本堂で「観音大 慈悲歌詠」奉納を行い、 この後、朝からの雨が降り 続く中、子ども奉献隊、青 いと思うことが大切である と述べた。その 上で仏の教 法の基本は仏 法僧の三宝に 帰依すること として、「信 者さんの救わ れた体験や開 かれた師匠の 祖さまのお話 を通して、三宝 依の功徳と美 式典を盛りな く終え、退座 する田中会長 と式衆

年奉献隊を先頭に導師の田 中庸仁会長、式衆が大観音 広場に移動した。大観音広 場では勧請文の奉納と、読 経と共に会員信徒各家の 「子孫繁栄総供養」が行わ れた。続いて「大観音胎内 仏」が一体1体心を込めて 祈願供養され、大観音台座 に奉安された。本殿で田中 会長による「御真教法話」 があり、春の立教祭は「先 祖報恩総供養」で、木とい うと根つこの部分、秋の大 観音まつりは「子孫繁栄総 供養」で、幹と枝葉の部分 と両方を供養する行事であ ると述べた。

さらに、観音菩薩は三十 三身に変化して人を救う方 であるとして、拜むだけで はなく、自分も観音のよう に人が救えるようになりた くと述べた。その 上で仏の教 法の基本は仏 法僧の三宝に 帰依すること として、「信 者さんの救わ れた体験や開 かれた師匠の 祖さまのお話 を通して、三宝 依の功徳と美 式典を盛りな く終え、退座 する田中会長 と式衆

広宣流布誓う

お会式・一乗まつり 立正佼成会

立正佼成会(庭野日鏡会 長)は10月15日午後零時半 から、東京・杉並の本部と 周辺で「お会式・一乗まつ り」を開催した。同行事の 目的は、庭野日鏡開祖が慕 った日蓮聖人の遺徳を偲 び、法華経に込められた一 乗精神をもって「人を救い、 世を立て直す」との生涯を 貫いた庭野開祖へ追慕・讃 歎・報恩感謝・継承・請願 をなす機縁とすること。 当日は雨天の中、正午過

立正佼成会(庭野日鏡会 長)は10月15日午後零時半 から、東京・杉並の本部と 周辺で「お会式・一乗まつ り」を開催した。同行事の 目的は、庭野日鏡開祖が慕 った日蓮聖人の遺徳を偲 び、法華経に込められた一 乗精神をもって「人を救い、 世を立て直す」との生涯を 貫いた庭野開祖へ追慕・讃 歎・報恩感謝・継承・請願 をなす機縁とすること。 当日は雨天の中、正午過

立正佼成会(庭野日鏡会 長)は10月15日午後零時半 から、東京・杉並の本部と 周辺で「お会式・一乗まつ り」を開催した。同行事の 目的は、庭野日鏡開祖が慕 った日蓮聖人の遺徳を偲 び、法華経に込められた一 乗精神をもって「人を救い、 世を立て直す」との生涯を 貫いた庭野開祖へ追慕・讃 歎・報恩感謝・継承・請願 をなす機縁とすること。 当日は雨天の中、正午過

第16回年次大会 信仰継承を考える

教団付置研究所懇話会 は9月28日午前10時半から、 東京・港区の曹洞宗増信 会館で「第16回年次大会」 を開催した。同懇話会は2 002(平成14)年に発足 し、教団に所属する研究所 で構成、新日本宗教団体連 合会(新宗連、保橋秀胤理 事長)はオサバーとして 参加している。

「次世代への信仰継承の ために」をテーマに、第1 部では「人材育成の問題点 」どうやって伝えていく かが課題」と述べた。 発表後、全体討議を行い会 場から発表者に対しての質 疑が行われた。

この後、総会が開催され 各研究部会からの報告の 後、実行委員会から次期の 当番事務局と実行委員研 究所の報告があった。

庭野氏は発表で立正佼成会 の学林を紹介した。

NPO法人 国際ビランダーズ
東京自殺防止センター
03-5286-9090
 年中無休、夜8時から翌朝6時まで
 火曜のみ午後5時から翌朝6時まで
 〒169-0072 東京都新宿区大久保3-10-1 日本基督教団シラーム教会内
 事務局電話番号 03-3207-5040 (FAX 03-3207-5098)

●全国にある他の自殺防止センター

- 国際ビランダーズ 大阪自殺防止センター 06-6260-4343 毎週金曜、午後1時から日曜、午後10時まで
- 国際ビランダーズ 宮崎自殺防止センター 0985-77-9090 毎週日曜・月曜・水曜・金曜、午後8時から午後11時まで
- 国際ビランダーズ 熊野自殺防止センター 05979-2-2277 毎月第1金曜、午後8時から11時まで
- 国際ビランダーズ 岩手自殺防止センター 019-621-9090 毎週土曜、午後8時から午前4時まで
- 国際ビランダーズ あいち自殺防止センター 052-870-9090 毎週金曜、午後8時から11時まで

ひとりで悩まず電話して!
 ホントにつらい時って誰にもいえない…よね。

●必要に応じて面接をしています。
 ●手紙でのご相談にも応じています。
 ●秘密は守られます。
 ●相談は無料です(通話料はかかります)。
 ●金銭的な援助はできません。
 ●医療・法律・教育関係の助言や指導は、専門家をお願いします。
 ●特定の思想・宗教・政党などとは一切関係ありません。

●東京自殺防止センターは国際ビランダーズの一員です。
 ●私たちは国際ビランダーズ憲章に沿って活動しています。

